

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2023年6月号(第171号)

発行責任者 中原 幹男

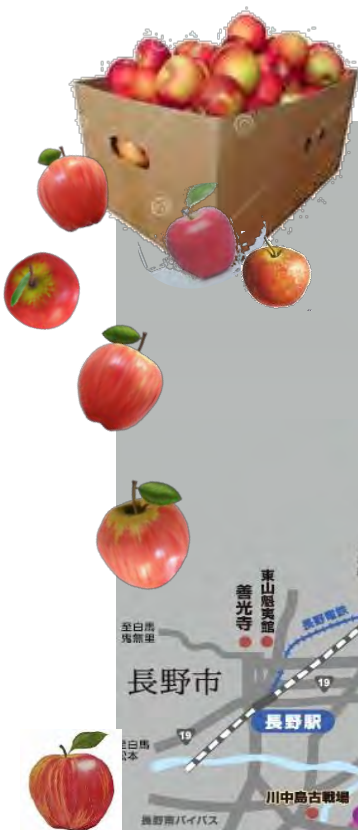
りんご摘果作業ボランティアと北信濃の旅

“ 所沢の自然と農業 サークル ”

令和5年(5/24~5/26) 長野県高山村「宮川農園」



北アルプスの山並み

りんごの実のうち
一つを残す摘果作業

高山村りんご畑





リンゴの摘果作業に参加して

所沢の自然と農業 澤田 喜代江

2023年5月24日～26日、2泊3日の長野県高山村:宮川農園「リンゴ摘果作業ボランティア&観光旅行」に初めて参加しました。

総勢10名、車組と新幹線組に分かれての出発、私は新幹線組でした。長野駅で宮川さんに笑顔で迎えられる彼の車で高山村まで45分程のドライブ。昨日の冷たい雨の日とは打って変わって青空の広がる爽やかなお天気。長野市街から千曲川を渡し、遠くにぐるりと囲まれた緑の山々と遥か彼方に白銀に輝く北アルプス連峰を見ながら、車は延々と続くブドウ畑の中を走り宮川邸に到着。奥様が自然体で迎えて下さいました。

やがて車隊の人達も到着し、私たちには宮川宅の2階の部屋が提供されました。居間でのご挨拶と一服の休憩の後、2時からいよいよリンゴの摘果作業です。

宮川邸の西側にはブドウ畑があり、その向こう側にリンゴの果樹園が広がっていました。私たちは剪定鋏を手にして宮川さんからの指導を受けました。



「今年は天候不順で4月に2回5月に2回もの霜の被害にあい大事な花をやられてしまった」「本来、リンゴには中心花が一つとその周りに4～5個の花が咲き実がつくんだけど、今年は2つか3つ、全然ついていないものもあるよ」「美味しい大きなリンゴを育てるために、これから皆さんにやってもらう摘果作業は一つの房に幾つか実っている幼果のうち、丈夫で形が良くツルが太くて長いのを一つ残して他の物を切り落とす作業なんだ」

私たちはお手本を見せて頂き、何列も続くリンゴの両側に立ち摘果を始めました。最初は慎重に、慣れてくるとパチパチと鋏の音も軽やかに、やがて爽やかな高原

の風と共に楽しみな話し声、鶯のさえずりも聞こえてくるようになりました。

1時間程経つとおやつの時間です。奥様が用意して下さいました大きなお焼きとお茶で一休み。

「作業は楽しくて自分に向いているかも?」「心が落ち着く」「澄んだ気持ちになれる」などの感想さえ聞かれました。

翌日も午前と午後摘果作業を行い予定はほぼ終わったので、宮川さんから最終日にはブドウの房切りを提案されました。房切りとは状態の良い花穂を選び3cmほど先端を残し残りの部分をすべて落とす作業です。私たちは失敗しないように慎重に、慎重に行いました。

私達のリンゴ摘果・ブドウの房切り作業がうまく出来たかどうか不安ですが、秋の収穫作業ボランティアがとても楽しみです。

次は、観光についてです。

2日目の朝6時出発、雷滝、八滝、高井橋を見学しました。車に分乗し松川渓谷沿いを走り雷滝に着くと雷の様な轟音とほのかな硫黄の匂いがしました。雷滝は裏側から滝の落ちる様子を見る事が出来るので、別名「裏見の滝」とも呼ばれています。八滝は八つの滝壺を持ち落差180m、展望台から一望出来ました。高井橋は松川渓谷に架かる緑の中に映える赤い橋でした。

雷滝に行く途中に「藤井荘」があります。

ナント、その旅館で将棋の藤井聡太6冠が渡辺明名人に挑む名人戦7番勝負第5局が31日と6月1日に行われました。

その他の観光は小林一茶館、最終日には、葛飾北斎の八方睨み鳳凰図で有名な岩松院を見学してから小布施町を散策しました。

最後に、宮川さんには宿泊や朝食の提供、夕食会と反省会に宮川さんご夫妻のみならず、次女さん、お孫さんご夫妻まで参加して頂き、20代から80代までが一堂に会して四方山話に花が咲きました。

宮川さん、参加された皆さんありがとうございました。



黄林閣ボランティア 100 回 記念講演

所沢の自然と農業 道江 義頼

5月16日(火)黄林閣の東山のボランティアを始めてから100回記念講演会を企画(主催:黄林閣管理人・針生清美、共催:所沢の自然と農業)。松永安佐エ門(耳庵)の孫の松英二郎氏を講師としてお招きし、耳庵お爺さんの人となり語っていただいた。

お爺さんとの年齢差は67歳。お爺さんのことは10代になって知った。だから、晩年のお爺さんしか知らない。私達は東京からの疎開で坂の下(黄林閣の下)に住んでいた。柳瀬小学校は遠く、大和田小学校の方が近いので、小学2年まで大和田小に通っていた。黄林閣の思い出として、姉が庭の池に落ちて溺れかかったことをよく覚えている。東京に戻ってから、私の父は日曜日になると柳瀬荘まで通っていた。国の電力事業から離れていた爺さんのお茶会の手伝いをしていたという。

父が15歳の時、お爺さんから次の3つを経験しろ、といわれたという。コレラにかかり大病したが自分だけは助かった経験。1910年小林一三の賄賂事件で自分が身代りになった経験。株の暴落で破産してしまい、一文無しになった経験。これを経験しないと天下は取れないというわけである。(註:運鈍根のことと思われる)

身内の話では、「お爺さんが怒ったらすごいよ」と父はよく言っていた。

あるとき、おばあさん(耳庵の奥さん)が「あなたは、なんでわけのわからない女の人と会っているのよ」。浮気をとがめられて大ゲンカになり、茶碗や陶器やらを投げ合いになった。(その話の後、“しかし、重要文化財の陶器は投げなかったね”と、英二郎さんのユーモアあふれたジョークで笑わせた)

電力の鬼も、孫を怒ることはなかった。私がアメリカ留学する時(1ドル=360円のとき)、普段はステテコか、股引だったが、きちんとした服装で見送ってくれた。

お爺さんは戦前、電力の国家管理を主張した鈴木貞一と対立。直接、「特高警察に捕まるから反論するな」といわれた。人間的にはウマが合っていた人の注意だったので、この時は受け入れた。戦後、こうした対立した人と

も親しくするような、心の広い一面もあった。

戦後、GHQの支配のもと、電力再編成の話がでて、隠遁していた70歳の松永安佐エ門が呼ばれた。電力再編後、原発の話がありアメリカに視察に行き帰国後、「当面、様子見したらどうか?」と提案。正力松太郎がアメリカの意を受けて「やろう、やろう」といった。

国家管理で原発導入が決し、結局、反対していた木川田も賛成した。のちに、私は伊藤忠商事に入り電力の仕事をしてくれないかと言われ、核燃料を担当した。思うに、東京電力の傲慢さが福島原発事故を誘発した遠因ではないか。当時の東電会長は福島には行かなかったという。もし、安佐エ門が生きていたら、彼を許さなかったらと思う。原発をつくり続けている世界。放射能汚染は大変である。命がけで働いているのが現状なのに、マスコミは取り上げない。今の日本は付度する人が多くなった。公益事業をもっと意識すべきである。



ユーモアのあと真剣なまなざしで以上のようなお話をされた。終了後、針生清美さんの音頭で講師の誕生日を祝い花束贈呈とハッピーバースデーの合唱で盛大のうちに終了した。

余談ですが、講演終了後、私は英二郎さんと雑談した。当時、黄林閣の坂下は、田んぼであった。昭和21年疎開先から私は柳瀬小1年に転校。そこはイナゴ、ドジョウ、メダカを取って遊んだところだった。英二郎さんは欄干のない英橋からGHQのジープが落ちたのを見たとか、米兵からチョコレートをもらったりした。雑木林の中の山鳩を撃ちに来るのである。私も同じような経験をしている。私の親友の初代管理人藤江家の息子のことも覚えておられた。

北極圏の永久凍土が融けて

「メタン」が大量発生！！

地球環境に学ぶサークル 小田原 一博

5月11日、NHKBS 放送「地球を揺るがす北極圏永久凍土の異変」は衝撃的でした。温室効果が二酸化炭素(CO₂)の40倍も高いメタン(CH₄)が北極圏から大量発生し、CO₂より深刻な問題かもしれません。

1. 北極圏の永久凍土とその状況

永久凍土とは、2年以上連続して温度が0℃以下になる土地のこと。北極圏のシベリア、グリーンランド、アラスカ、カナダに位置し北半球陸地の25%を占める。永久凍土には大量の有機物が貯蔵されており、温暖化によって融解すると凍結していた有機物が分解され、メタンや二酸化炭素が放出される。メタンの大量放出は、最近20年で顕著な現象で、凍土融解で地上付近に溜まったメタンが自然に爆発し、多数のクレーターや湖ができ、そこからメタンの気泡が噴出している。



北極圏 永久凍土のクレーター

さらに深刻なのは、メタン発生源が永久凍土(厚さ150m)より何kmも深い数百万年前の化石燃料層にもあり、そこからも放出していることが判明したことである。北極圏の地下には大量のメタンが貯蔵され、大気中の250倍に相当する。

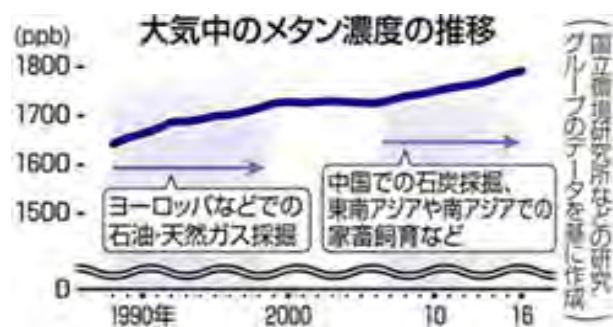
2. メタン(CH₄)とは、その温室効果は

メタンは天然ガスの主成分である。メタン濃度上昇は、中国の石炭採掘増加や、東南アジアの畜産発展が主因とされており、最近では牛のゲップや水田から放出するメタンが話題になっている。しかし永久凍土融解で放出するメタン量はこれらと比較にならない程多い可能性がある。

3. メタン発生のメカニズムと発生量

一般に、有機物の分解により、湿地などの酸素の少ない嫌気的環境ではメタンが発生し、酸素が十分にある好気的環境では二酸化炭素が主に発生する。21世紀末には二酸化炭素1130～2310億トン、メ

タン12.61～28.21億トンが放出され、平均気温を0.05～0.11℃程度上昇させると言われている。しかし融け始めた凍土で何が起るか研究は始まったばかりである。温度上昇によって永久凍土からメタン放出が進むと温暖化に拍車がかかる。従来の気候変動予測では、永久凍土の融解が不確実性の要因とのこと(国立環境研究所)。今後の温暖化の進行は予想以上に加速し、既に後戻りできない状況になっている可能性があるという。



4. COP26 世界メタン宣言

永久凍土の融解が注目される前、2021年11月に、EUの欧州委員長は「温暖化を1.5度以内に抑えるためには、強力な温室効果ガスのメタン削減が最も簡単に実行できる策だ」と強調した。同月COP26では100カ国以上が賛同し、「世界メタン宣言」を採択した。30年までに、メタン排出を20年比で30%減らす世界的枠組みがスタートしている。しかし永久凍土のメタン問題は言及されていない。幸いメタンの寿命は12年で消滅も速いため、新たな発生の抑制が重要である。

5. 永久凍土のメタン発生削減策

永久凍土融解は21世紀末以降も進む。特にメタン放出の多い北極圏では、人為的な気温上昇につながる土地開発の規制など、融解によるメタン放出を減らすことが唯一の方策ではないだろうか。

※.出典

- ①NHKBS「地球を揺るがす北極圏永久凍土の異変」2023.5
- ②国立環境研究所「地球温暖化で永久凍土の融解はどこまで進むか」2021.2
- ③朝日Globe「忘れられた温室効果ガス」2022.10

ウサギと 仲良くできるかな？

玉上 佳彦

5月中旬に妻が「変形性股関節症」の手術のため、約3週間入院することになり、しばらく私とウサギだけの同居生活が始まりました。もともと私には懐いていなかったウサギなので、仲良くやっていけるかどうかと非常に不安でした。



初めて我が家へ
やって来た頃のクルミ

今我が家で飼っているウサギは、約2歳の雑種（メス）ですが、ペットショップのケージの中で、たいへん可愛いく、おとなしそうなウサギだったため、妻と即決で飼うことを決めました。名前はクルミと命名して可愛がるつもりでしたが、自宅に連れ帰って様子を見ているうちに、極めてやん

ちゃなお転婆ウサギであることがわかり、ダメサレタと思ったものでした。もちろんペットショップに返品するわけにもいかず、なんとか手懐けていい子になってもらいたいと、妻が必死になって世話をしていました。

当時は生後1ヶ月で、体重は865gと手のひらに乗る大きさでしたが、現在は2,200gと堂々とした体格となっています。

ウサギ飼育の参考書によると、「ウサギは警戒心が強いので、ウサギの気持を理解して、安心感や信頼感を与えることが大切です。理解できないかもしれないけど、声掛けや会話をすることで徐々に懐いてくれます。しかし、個体差や性格差があるので、焦らずに関係性を築いて下さい」

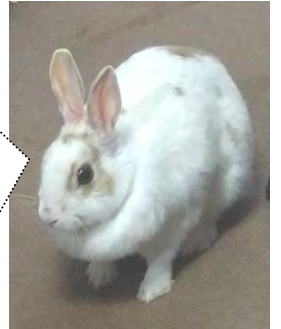
確かに個体差があるようで、我が家では、今のクルミで6代目ですが、これまでのウサギは、大人しい性格や乱暴なものや人懐っこいウサギなどいろいろでしたが、クルミは特別なお転婆ウサギです。

以前のウサギは階段が怖くて、2階に自分で上がっていくことはなかったのですが、クルミは運動能力があるのか怖いもの知らずというか、階段をものともせず単独で駆け上がり、2階の部屋にやって来て、私の仕事部屋で齧りまくるものを物色するという能力？を有しています。

妻が入院後、クルミは私に近づかず、しばらく元気がなく、食欲を失い、何かおかしいなと感じていたようで、病気になるのではないかと心配していました。私から声掛けして、餌やおやつをやっても無反応でした。4日目頃になって、やっと元気を取り戻したようでした。

クルミの独り言

いつも世話をしてくれていた人（妻）がいなくなっている。代わりにあまり好きではない人（私？）がいて、なんとか面倒をみてくれているが、ごちない。大丈夫だろうか？なんとか人間語で説明してくれるようだが理解できない。しばらく意地悪して心配させてやろうか。何日か経っても、いつもの人がいないので諦めて代替りの人に近づいてやろうかな。悪い人ではなさそうなので、少しずつ甘えてやろうかな・・・。



最近の警戒中のクルミ



リラックス中のクルミ

そのような状況で、悪戦苦闘しながら、糞の片付け、ケージの掃除、餌やりなどをやっているうちに、クルミも申し訳ないと思ったのか、私の行動を理解してくれるようになってきました。

以下は、我が家で経験したウサギの飼い方指南です。参考にいただければ幸いです。

- ウサギは非常にデリケートな動物で、警戒心が強いので、焦って近づくと、鋭い歯を剥きだしにして、噛みついてきます。じっくり時間をかけて、懐いてくるのを待つ必要があります。
- 野生のウサギは天敵が多いため、極めて臆病で、襲われそうになったら一目散に逃げるだけの足腰が強く、瞬時に飛び跳ねて逃げるのです。しかし、持久力がないため、「ウサギと亀」のおとぎ話のように、疲れて休憩している間に亀に負けてしまうのです。
- 我が家のクルミも元気なうちは、2階も含めて家中を飛び跳ねているのですが、しばらくすると、疲れて、体を伸ばしてゴロツと寝転がり、リラックスして、体力を回復させているのです。
- 前述しましたが、ウサギは個体差が大きいので、見た目が可愛く、おとなしそうだと思っても、飼って見ないとわかりません。見た目にだまされないようにお気をつけ下さい。

サークル活動報告

楽しい音楽をご一緒に



楽悠クラブ 田村 健一郎

◆ 2022 年度 11 月～2023 年 5 月の楽悠クラブの活動（音楽鑑賞など）を示します。

11 月：「ジャズ&ポピュラー特集」ポピュラー、カンツォーネ、シャンソン、ミュージカル、ジャズ

12 月：「カントリー&フォークを楽しむ」フォークソング、カントリー、クリスマス

1 月：ミュージカル映画「王様と私」1956 年 アメリカ、ユル・ブリンナー、デボラ・カー

2 月：プッチーニ歌劇 3 部作 「外套」、「修道女アンジェリカ」、
「ジャンニ・スキッキ」3 月：プッチーニ歌劇「蝶々夫人」2004 年 アレーナ・オーレン指揮、
蝶々さん；フィオレンツァ・チェドリンズ
アレーナ・ディ・ヴェローナ（野外劇場）4 月：映画「ウエスト・サイド・ストーリー」2021 年アメリカ、
ミュージカル ロマンس ドラマ映画5 月：モーツァルト歌劇「魔笛」1995 年 リカルド・ムーティ指揮
ミラノ・スカラ座

1 月 ミュージカル映画「王様と私」

◆ 2023 年 6 月以降は、次の鑑賞項目を予定しています。日程は「広場」サークル活動計画に示します。

①「ジャズ&ポピュラーなどを楽しむ」②フランツ・レハール作 オペレッタ「ルクセンブルグ伯爵」

③ロッシーニ歌劇「泥棒カササギ」④ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」

⑤モーツァルト歌劇「フィガロの結婚」⑥ワーグナー楽劇「ニーベルングの指輪（第 2 日）ジークフリート」



活発に議論を戦わせる場を大事に

アジア研究会 玉上 佳彦

アジア研究会は、市民大学 14 期のグループワーク「日本と世界」のメンバーによるところざわ倶楽部発足時からのサークルで、主にアジア諸国（特に中国、韓国、インド）の諸問題をテーマに活動してきました。

現在のメンバーには、現役時代に中国、台湾、韓国、東南アジア諸国などに駐在や出張経験のある人が多かったため、当時の経験を活かした体験談や裏情報などを発表して議論を進めてきました。しかし、会員はほとんどが男性だったため、男性中心の話題が多かったように思います。

幸いにして、最近は女性会員が増えてきたので、今後は女性にも関心を持ちやすいテーマも含めた活動を進めべく検討しています。



今後の活動については、これまであまり取り上げたことのなかった、イスラム世界や、仏教の世界などについて内外の講師による学習会などを計画しています。

ご興味のある方は、ところざわ倶楽部の HP からアジア研究会の活動報告をご覧ください。

アジア研究会の会員には、問題意識の高い人が多く、定例会では意見を十分に披露できない場合が多いため、場所を代えての反省会などで、活発に議論を戦わせる場も大事にしています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)

6月21日(水)13:00～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ: DVD「日本国憲法」視聴およびG7サミットに関する
 フリーディスカッション
 7月26日(水)13:30～16:00 中央公民館8・9号室 定例会
 テーマ: 未定

2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)

6月13日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 「ジャズ&ポピュラーなどを楽しむ」
 7月11日(火)13:15～16:30 中央公民館3階8・9号学習室
 フランツ・レハール オペレッタ「ルクセンブルグ伯爵」
 7月11日(火)18時～20時 暑気払い会

3. 食を通して所沢を知る会 (岡部 まさ子 080-5872-1868)

6月25日 「ふらっとまつり」協力
 6月27日(火)10:00～ 所沢保健センター
 「災害食について」
 7月25日(火)10:00～ ふらっと会議室
 「みどりの食料システム戦略」説明会 関東農政局消費生活課長

4. 地球環境に学ぶ (小田原 一博 080-6537-2670)

6月22日(木)10:00～12:00 新所沢東公民館、読書会
 22世紀の民主主義:成田悠輔著 第3回
 6月27日(火)9:00～11:00 新所沢東公民館、月例会
 環境討論:2030年までにCO2半減には何をすべきか他
 現地見学:北岩岡ソーラーシェア(西武アグリ)
 7月25日(火)10:00～ 「みどりの食料システム戦略」説明会

5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)

6月14日(水)13:15～15:00 中央公民館 1階 学習室3号
 定例会 テーマ「私たちの2025年問題」ー最近の話題からー
 〈SP〉チアダンス練習日 見学大歓迎!
 6月10日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室
 6月24日(土)13:30～16:00 生涯学習推進センター 多目的室

6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)

6月8日(木)13:00～15:00 新所沢公民館 定例会
 6月20日(火)9:00～11:30 柳瀬荘黄林閣整備ボランティア
 6月25日(日) 市大ファーム夏の収穫祭 於: 陽子ファーム
 6月30日(金) 柳瀬荘黄林閣整備ボランティア

7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (栗屋 貴夫 090-2746-9840)

6月15日(木)13:30～16:00 中央公民館第8・9号室
 映画「はだかっ子」DVD上映会
 ※昭和30年代前半の所沢及び周辺地域の様子を学ぶ資料。
 7月上～中旬(日程調整中)
 「府中郷土の森博物館とサントリービール工場見学」

8. ドラマティック・カンパニー (高橋 信行 090-9393-6238)

6月10日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
 朗読 シェイクスピア原作「恋の骨折り損」(松岡和子訳)
 とところざわ倶楽まつり参加台本の策定作業
 6月24日(土)10:00～12:00
 場所、事項は 6/10に同じ

9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)

6月13日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 邦画「長崎ぶらぶら節」(’00年)大映～小百合・渡共演
 なかにし礼の作品を映画化
 6月27日(火)10:00～12:30 西新井町会館
 洋画「折れた矢」(’50年) ジェームス・スチアート
 ～上映時 お茶・コーヒーとツマミ お楽しみ～

10. 脳活サークル (加曾利 厚雄 2939-2308)

6月26日(月)13:30～ こどもと福祉の未来館・多目的室3号
 自作の花器で「フラワーアレンジメント」講師: 安田好子氏
 7月24日(月)13:30～ こどもと福祉の未来館・多目的室2号
 内容: 若手落語家による「所沢演芸会」落語鑑賞
 大いに笑って「脳活」しましょう!

11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)

6月19日(月) 新所沢東公民館 研修室1号
 テーマ: 「市議選アンケート活動について」
 ほかに各グループ報告
 7月19日(水) 7月テーマは6月例会で検討

12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)

6月16日(金)10:00～13:00 こどもと福祉の未来館
 多目的室2号(1階) 定例会
 新しい語り文「ほうおうとえび」の読み合わせと
 所沢の民話「車返しの弥陀」を、台詞や絵を添えた楽しい語り
 文へ挑戦。
 7月14日(金) 定例会

13. ITサロン(ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)

6月14日(水)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室5号
 パソコン相談会
 6月30日(金)13:00～16:00 新所沢公民館 学習室6号
 パソコン、スマホ相談会
 7月12日(水) 新所沢公民館学習室5号
 7月28日(金) 新所沢公民館学習室6号

理事会報告 5月15日 第6回理事会が開催されました。

・6月29日及び7月6日に行われる文芸講座は、サークルを通じて参加者の取り纏めと、参加費の徴収をお願いしております。
 ・9月8日(金)中央公民館 時局講演会(元外交官 孫崎享氏)
 ・9月27日のところざわ倶楽部まつりでは、舞台部門6サークル
 が出演予定、展示部門はサークル活動(PR)と個人作品を展示
 6月12日(月)10:00～12:00 第7回理事会 新所沢東公民館

みんなの広場 第52回

傍聴席：保里 正子

「気候の時限爆弾」がセット
された地球でトトロの森を…

気候変動対策が急務です。国連のグテレス事務総長は地球には「気候の時限爆弾」がセットされたと言っています。もう小規模の破裂が始まっています。「気候の時限爆弾」が大規模に破裂しないように、生活を見直す時なのではないでしょうか。

科学的にカーボンゼロを目指す取り組みもされていますが、実際にCO₂を吸収し空気を浄化し、蒸散作用によって温暖化を緩和してくれる樹木の存在こそが、最も基礎的で大切な役割（生態系サービス）を果たしています。所沢には幸いたくさんの里山がトラスト制度により取得・保護されています。そのトラスト地も手入れをしてこそ生態系から必要なサービスを受けられるのです。トトロの森12号地のボランティア作業に参加し、樹木の個性的な豊かさを知りました。ここでぜひ皆様にも里山の豊かさを知っていただき、里山を大切にすることは、困難な危機を乗り越える一助になると理解していただければ幸いです。



キンランの花

トトロの森12号地の樹木（思い出すままに）コナラ、クヌギ、ゴズイ、ウグイスカグラ、エゴノキ、オトコヨウゾメ、ムラサキシキブ、ヤマザクラ、イヌザクラ、ウワミズザクラ、ムクノキ、クサボケ、ヤマハギ、アカシデ、アカメモチ、イヌツゲ、イボタノキ、ヤマツツジなど。

一様に見える林もこのように多様性に富んでいます。

（トトロの森12号地は、北中運動場北側100m位の所にあり、ボランティア3団体で保護活動をしています）

編集後記

「広場」の中で連載されているシリーズ「世界の平和を考える」は5月号で19回を数えます。これまで執筆者の目線でいろいろな意見が述べられてきており、論点は“コロナ”、“食料”、“ウクライナ戦争”、“民主主義”、“防衛三文書”、“アフガンの中村医師”、“お茶を通しての平和貢献”等多岐に亘っています。「広場」の読者が普段どのような視点をもって世の動きを見ているかを知る良い企画であると思っています。民主主義の評価すべき点は自由に自分の考えを述べられることであり、意見を戦わせることです。そういう意味では述べられた意見に対し3回に1回ぐらいは違う意見を述べる機会があってもいいのではないかと思います。

各人が各人の意見を尊重しながら違う観点で論じ合い、そして論点を深めていく、それこそがこの企画の目指すところではないのかなと思うこの頃です。

記：稲村洋二

川柳〔八十五〕

作品発表 選 中島 峯生

課題「サクラ」

「自由題」

太道の客に紛れてサクラやる
花が咲き改め気づくサクラの木
さくら餅母の手作り味儼ぶ
桜餅鯉を仕舞って桜ん坊
早桜慌てて春や夏が来る
後で知るサクラだつてさアンコール

縄文人
りんご好き
詔笛
峯声
海さとる
突拍子



何時からか夫婦二人が当たり前
孫しぐさ我につながるくせ見つけ
同期みな顔皺だらけでも元氣
何をしにつま先違う交差点
ところバス二駅のはず逆コース
風に乗り天下撰ったと鯉のぼり

海さとる
りんご好き
詔笛
峯声
突拍子
縄文人

次回（第86回）課題「友達」そして「自由題」
締切り日：6月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp、Fax 04-2928-1161

